



オリーブ便り Olive News

2021.06.01

No.444



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 田宮 隆

基本
理念

患者さんの権利を尊重し、良質・安全な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し、医療の発展に寄与します。

新任挨拶

香川大学医学部 脳神経外科学 教授 三宅 啓介



令和3年4月1日より脳神経外科学講座の教授職を拝命いたしました。

私たち、脳神経外科は、救命救急医療、脳卒中・脳血管障害、そして脳腫瘍、小児神経、脊椎・脊髄外科、機能的脳神経外科に対する医療、これら3本を柱として診療を行っています。

まず、救命救急センターの先生方との協力のもと、頭部外傷、脳卒中に対して治療を行っています。脳死判定が必要な場合には、これまでと同様に行い、臓器組織提供・移植医療に貢献したいと考えています。

脳血管障害においては、頭蓋内動脈瘤に対してフローダイバーターステント治療を四国4大学の先陣を切って行っています。脳血管内治療は新しい治療機器が開発され、順次導入を予定しています。3D画像をはじめ、3Dプリンターを用いた個々の患者さんの動脈瘤血管モデルを作成し、治療前のシミュレーションをもとに実際の治療を行う脳血管障害に対するいわゆるテーラーメイド治療を行っています。

脳腫瘍に対しては先進医療として「抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査」を行っています。令和元年10月より香川大学はがんゲノム医療拠点病院となり、がん遺伝子パネル検査も可能となりました。これらを合わせたテーラーメイド治療を個々の脳腫瘍の患者さんに行っています。

高齢化社会に伴い全身状態が低下した脳腫瘍の患者さんが増加しています。我々は、全身状態が低下した言語領域の腫瘍の患者さんに対して、neoadjuvant治療により全身状態を改善し、覚醒下言語マッピングを行うことで言語機能を温存しながら腫瘍摘出を行う新しい治療を試みています。

香川大学脳神経外科は、香川県のみならず、世界に向けて新しい治療を推進したいと日々全力を尽くしていますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

香川大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター長 安田 真之



令和3年4月1日付けで卒後臨床研修センター長を拝命いたしました安田真之（やすだ さねゆき）と申します。私は平成9年に香川医科大学（現香川大学医学部）を卒業し、直ちに香川大学医学部小児科に入局し、小児科医として臨床、教育、研究、国際協力に従事して参りました。令和2年5月1日から当センター専従医師として業務にあたっております。

当センターの主な業務は医学部卒業後1、2年目の研修プログラムの管理、運営です。平成16年から診療に従事しようとする医師は、2年以上の臨床研修が義務付けられました。卒後より十分な教育、研修システムを構築することは、若手医師の勧誘やキャリア支援のみならず、医療安全の向上の観点からも必要とされています。

この研修制度も17年経過し、卒後臨床教育における環境は、大きく変化しました。全国的な傾向として、研修医の大都市や市中病院志向が高まっています。地域に根ざした医療を提供する当院の使命として、当センターでは医学部教育センター、医師キャリア支援センター、地域医療教育支援センターと協力し、シームレスな教育研修システムを構築し、医師の地域定着に貢献したいと考えており、その責任の重大さを実感しています。研修病院を受診される患者さん、スタッフの皆さまにおかれましても、今後を担う医療者の育成にご理解、ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

香川大学医学部 事務部次長(併：管理課長) 圖子 幸伸



このたび事務部次長(併:管理課長)を拝命しました圖子(ずし)と申します。前職は農学部事務課長でした。医学部では平成12年度から14年度までの3年間、用度第2係で主任としてお世話になりましたが、以来18年ぶりの医学部勤務となります。

当時とは時代も立場も変わりましたが、大学病院に求められるものもより多様化・高度化していると感じます。まだ分からないことばかりですが、こちらでの在任中に何かしらの足跡を残したい、と思っております。

予算状況も厳しい中、微力ではありますが、皆さまのご協力を得ながら、病院設備の整備等に努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

香川大学医学部 事務部次長(併：医事課長) 和氣 明彦



このたび、事務部次長(併:医事課長)を拝命しました和氣です。私は本院が開院した年である昭和58年の4月に香川医科大学(当時)に採用され、大学統合後もずっと医学部勤務が続いていましたが、平成30年4月に高知大学医学部(医事課)勤務を命じられ、令和3年4月に再び香川大学医学部に帰って参りました。高知大学の病院再開発は、附属病院開院が本院より2年早いにもかかわらず、工事費の高騰による財政事情等により新病棟を1つ建てただけでストップしており、建物の大半は老朽化していました(今は再開発が再びスタートしています)。本院は、私が以前在籍

していた3年前はまだ未工事だった外来・中診棟がリニューアルされており、新たな環境での勤務に嬉しく感じています。

現在は、新型コロナ陽性者が香川県でも連日多く発生し大変な状況ですが、それは全国でもほぼ同様です。特に附属病院では過酷な日々が続いていますが、関係者による連携・協力のもと乗り越えていきましょう。厳しい環境下ではありますが、感染に注意しながら医事業務に邁進して参りますので、ご指導方よろしくお願いいたします。

がん治療の三本柱の中で

香川大学医学部附属病院 放射線治療科 助教 高橋 重雄

放射線治療は、がん(腫瘍)を切らずに治すことができ、手術や抗がん剤治療(薬物療法)とともに、がん治療の三本柱の一つを担っています。放射線のみで治療することもあれば、より高い効果を期待して手術や薬物療法と組み合わせる場合もあります。今回はがん治療の基本的な考え方をご紹介します。

重要なのは、がんの進展度合いです。まず、腫瘍が周りの臓器にどのくらい食い込んで(浸潤して)いるかが、手術や放射線治療が可能かどうかの第一関門になります。多くで手術が主な選択肢になりますが、浸潤がひどくて手術ができないと判断されても、放射線治療は可能な場合があります。

次に、腫瘍が周囲(領域)のリンパ節にどのくらい転移しているかが重要で、第二関門になります。がんの種類によりますが、領域リンパ節転移の範囲が広くて手術ができないと言われても、放射線治療は可能なことがあります。

更に、がんが他の臓器に広がっているか(遠隔転移があるか)どうかで、最終関門になります。手術は切った部分の臓器が無くなってしまうため、遠隔転移をどんどん切っていくことは不可能です。放射線治療も当てた(照射した)部分に、効果だけでなく副作用も出ますので、遠隔転移を広く照射していくことはできません。ここで、薬物療法が主役になります。抗がん剤等の薬物が体内を巡ることで、遠隔転移の多くを治療できます。症状を和らげるなどの目的で、手術や放射線治療が行われることもあります。

三本柱の中で、放射線治療は「高精度に」「効果を高め」「副作用を減らす」方向に進歩しています。体幹部定位放射線治療(SBRT)というピンポイント照射によって、短期間に大線量を腫瘍に照射することで、手術を受けられない患者さんでも、早期肺がんであれば9割前後の確率で腫瘍を治せるようになりました。強度変調放射線治療(IMRT)という放射線の強度を自在に変える手法によって、隣接する正常臓器への影響を最小限にし、照射による副作用を従来よりも減らせるようになりました。放射線治療の適応については、主治医や放射線治療医にぜひご相談ください。

毎日新聞「四国健康ナビ」2020年6月9日掲載分

ホスピタルカーを導入しました

香川大学医学部 医事課

香川大学医学部附属病院では、公益財団法人日本財団が実施する「新型コロナウイルス感染症と複合災害に備えた救急医療施設への緊急支援プログラム」の助成を受け、患者搬送車輛の配備や資機材等の整備を行いました。

このプログラムは、新型コロナウイルス感染症患者及び災害現場での多数傷病者への適切な医療提供をサポートする整備及び体制の確立を目的としております。本院は香川県で唯一の特定機能病院であり、地域医療における最後の砦として、香川県や他の医療機関と連携を取りながら、新型コロナウイルス感染症への対応や災害時における医療の提供に努めてまいります。



特定行為研修(外科術後病棟管理領域パッケージ)を修了して

香川大学医学部附属病院 南集中治療部 副看護師長 集中ケア認定看護師 堀 仁実

私は外科病棟での勤務経験を通して、患者さんの症状の変化にいち早く気づき、病状を的確に捉え、そして根拠ある確かな看護を提供するための技能を高めたいと思っていました。令和2年度に当院で開講された「看護師の特定行為研修」を第1期生として受講し、令和3年3月に研修を修了することができました。

講義のe-ラーニング期間は働きながら受講しており、勉強と仕事の両立は大変でした。しかし、講義の学びをすぐに臨床で活かすことができる利点もありました。また、患者さんに侵襲度の高い特定行為の実習では不安や緊張もありましたが、指導医の先生方が丁寧にご指導、サポートしていただき、学びの深まる実習となりました。研修は修了となりましたが、安心・安全な特定行為実践のために今後も自己研鑽を続け、チーム医療の要として貢献できるよう尽力していきたいと考えています。



胸腔ドレーン抜去授業



気管カニューレ交換授業

5月1日より新テーマ放送

イキイキさぬき健康塾
香川大学医学部附属病院 医療セミナー

6月放送テーマ:生活習慣病と密着した脂肪肝について



詳しくはこちら

消防訓練の実施について

香川大学医学部 管理課

令和3年度第1回の医学部地区消防訓練を4月2日(金)に実施しました。

当日は、新規採用の研修医と看護師を合わせた80名が参加し、火災時、災害時における基本的対処及び心構え等の講義の後、消火栓、水消火器を使用した消火訓練に参加者各自が取組み、有意義な訓練を行うことができました。

今回の訓練内容をもとに、有事の際にも対応できるよう身につけてほしいと思います。



臨床研究に関するご案内

香川大学医学部

倫理委員会委員長

治験審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院

臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

臨床研究に関するご案内URL

<http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー 2021.6~2021.7月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
6/5 土、6 日		サンポート高松 かがわ国際会議場	第116回・第118回日本循環器学会 中国四国合同地方会	心臓血管外科	(087)891-2186
7/31 土	13:30~16:30	丸亀町レッツホール	肝炎医療コーディネーター研修会	消化器・ 神経内科学	(087)891-2156

編集委員会 (50音順)

(2021年5月現在)

阿部(看護)、井町(外来)、木内(検査)、小坂(薬剤)、圖子(管理)、筒井(経営企画)、常森(病棟)、仁尾(医療支援)、南野(副病院長)、門田(放射線)、横井(医療情報)、横川(総務)、和氣(医事) [委員長 田宮病院長]